

令和7年度第1学年技術科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	定期考査 課題プリント 技能テスト、提出物（作品）
観点2	思考・判断・表現	課題プリント 授業観察
観点3	主体的に学習に取り組む姿勢	提出物 課題プリント 授業観察

週1時間

(授業者; 鎗田正裕)

(授業者;)

学習時期		指導計画		評価の観点				評価 時期	小学校の学習との関連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③			
1	6	ガイダンス コンピュータに関する学習	1. コンピュータの基本構造	○	○	○		6月	国語 ローマ字 算数 見取図, 展開図
	7		2. ソフトウェアの活用	○	○	○			
	8	製図	キャビネット図	○		○			
	8		等角図	○		○			
2			第三角法による正投影図	○		○		7月	
	9	材料の特徴を知ろう	1. 製作品の決定	○	○				
	10	木材を加工しよう	2. けがき、切断、接合の学習	○	○	○			
	11			○	○	○			
	12		3. 材料加工(けがき、切断、切削)	○	○	○		12月	
	1		4. 組み立て	○	○	○			
3				○	○	○		2月	
	2		5. 仕上げ(研磨、塗装)	○	○	○			
	3			○	○	○		3月	

家庭での学習方法・学習のアドバイス

1年生のパソコン学習は各小学校で習った内容の復習と、学校によって異なる学習内容を均一にします。起動、ログインやアプリケーションの操作方法、ローマ字入力とキーボード、マウス操作などを確実にできるようにしましょう。今後中学校だけでなく、上級学校でも必要になるスキルです。
製図は技術の学習においてこういった作品を製作するかを表現したり、図で指示された作品を製作したりするのに必要な技能です。3つの投影図の見方描き方を練習して習得しましょう。
木材の加工では木工具や工作機械を用いて製作を行います。安全でスムーズな作業ができるように、必要な知識を身につけていきましょう。

令和7年度第2学年技術科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	定期考査 課題プリント 技能テスト、提出物（作品）
観点2	思考・判断・表現	課題プリント 授業観察
観点3	主体的に学習に取り組む姿勢	提出物 課題プリント 授業観察

週 1 時間

(授業者 鎗田正裕)

学習時期		指導計画		評価の観点			評価 時期	小学校の学習との関連		
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③				
1	6	電気機器の構造、保守点検、工具の正しい使い方	実習 (テーブルタップの製作、振り返り)	○	○	○	7月			
	7	エネルギー変換に関する技術と利用		○	○	○				
		生物育成に関する学習	1. 生物育成の技術に関する学習	○	○					
	8		2. 栽培計画の立案、実習	○	○	○				
2			3. 適切な管理(水やり、防虫)	○		○	12月			
	9		4. 収穫、振り返り	○	○	○				
	10	目的に応じた設計・制作	1. 材料加工(切断、切削、接合) キーホルダーの製作	○	○	○			12月	
	11		2. 仕上げ(やすりがけ、ニスぬり)	○	○	○				
	12						3月			
3	1	情報に関する技術	1、デジタル作品の構想		○	○				
	2		2、情報の収集と加工	○	○	○				
	3		3、プレゼンテーション作品の製作発表	○	○	○				

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ・授業には集中して取り組みましょう。
- ・プリントはファイルにきちんと入れ、振り返りができるようにしよう。
- ・道具や機器は正しく、安全に扱いましょう。けがをしない、させないように注意しましょう。
- ・製作品づくりは必ず目標と計画を立て、設計、製作をしましょう。完成したら振り返りをし、次の製作に生かしましょう。
- ・パソコン（特にキーボードやマウスの操作）には慣れておこう。

令和7年度第3学年技術科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	定期考査 課題プリント 技能テスト、提出物（作品）
観点2	思考・判断・表現	課題プリント 授業観察
観点3	主体的に学習に取り組む姿勢	提出物 課題プリント 授業観察

週0.5時間

(授業者： 鎗田正裕)

学習時期		指導計画		評価の観点				評価	小学校の学習との関連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③	時期		
1	6	プログラムによる計測・制御	1. 身の周りの計測・制御の学習 製作品づくり(コロックル)					8月	
	7		1. 部品のはんだづけ	○	○	○			
	8		2. 計測・制御の確認・修正		○	○			
2	9		3. センサを用いた計測・制御	○		○		12月	
	10		2. 処理の手順とプログラム 「コロックル」による計測・制御						
	11		1. 操作方法の習得	○		○			
3	12		2. プログラム作成、発表	○	○	○		3月	
	1		情報モラルと知的財産						
	2		タイピング練習	○	○	○			
	3		ソフトウェアの活用	○	○	○			
	3		ワープロソフトを利用したカレンダーの作成	○	○	○			

家庭での学習方法・学習のアドバイス

プログラムによる計測・制御の学習は2年生で習った電気製品の組み立て（半田付け）の応用でプログラム教材”コロックル”を製作し、これを用いてフローチャートにより考えたプログラムを作成していきます。どういう目的をどういった手順で達成するかを考え、プログラムを論理的に考えられると良いと思います。

情報モラルと知的財産では、オンラインの素材などを知的所有権に配慮してアプリケーション上で利用していく方法を考えます。それぞれの素材がどういった場面で利用できるか、どのように利用すると見やすかったり、効果的になるかなどを考えて作業を進めましょう。

令和7年度第1学年家庭科年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともにそれらに係わる技能を身に付けている。
観点2	思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し考えたことを表現などして課題を解決する力を身につけている。
観点3	主体的に学習に取り組む姿勢	家族の一員として生活をよりよくしようと課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

週1時間

(授業者； 小野田祥子)

(授業者；)

学習時期		指導計画		観点			評価 時期	小 学 校 の 学 習 と の 関 連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	1	2	3		
1	4	ガイダンス 私たちの衣生活	3年間の学習の見通しを立てる					
	5		・衣服の役割					
	6		・着方の工夫					
	6		・衣服の計画的な活用、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ					
	7	私たちの住生活	「生活を豊かにするための布を用いた制作」	○	○			
	7		・制作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い					
	9		・生活を豊かにするための資源や環境に配慮した布を用いた物の制作計画及び制作の工夫	○	○	○		
	9							
	10	私たちの食生活	「住居の機能と安全な住まい方」					
	10		・家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能	○				
	11		・家族の安全を考えた住空間との関わり、住居の異本的な機能		○	○		
	12		・家族の安全を考えた住空間の整え方					
	1		食事の役割と中学生の栄養の特徴		○	○		
	1		・食事が果たす役割	○				
	2		・中学生の栄養の特徴、健康によい食習慣					
	2		・健康によい食習慣の工夫	○				
	3		「中学生に必要な栄養を満たす食事」		○	○		
	3		・栄養素の種類と働き		○			
	3		・食品の栄養的な特徴		○			
	3		・中学生の一日に必要な食品の種類と概量		○			
	3		・献立作成の方法	○				
	3		・中学生の1日分の献立の工夫	○				
	3				○	○		
	3							

家庭での学習方法・学習のアドバイス

自分も家族の一員として自分の家庭生活に関心を持ち、学んだことを家庭生活に生かすように心がける。また、授業で学んだことを家族と話し自分や家族の生活の仕方に合わせて工夫していくようにする。

定期考査は、十分なテスト勉強が大切です。授業で学んだことを早めにまとめるようにしましょう。

授業中の作業時間は短いので、準備や片付けが手早く出来る方法を考えておきましょう。

忘れ物をする、作業が進まない、忘れ物がないように準備をしっかりしておきましょう。

教科書のQRコードを利用して動画を予習や復習に活用しましょう。

令和7年度第2学年家庭分野年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともにそれらに係わる技能を身に付けている。
観点2	思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し考えたことを表現などして課題を解決する力を身につけている。
観点3	主体的に学習に取り組む姿勢	家族の一員として生活をよりよくしようと課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

週1時間

(授業者：小野田祥子)

学習時期 期 月	指導計画		観点			評価 時期	小学校の学習との関連
	学 習 単 元	学 習 内 容	1	2	3		
4	食生活と自立	「食事の役割と食習慣」 「日常食の調理と地域の食文化」 ・用途に応じた食品の選択 ・食材や調理用具等の安全と衛生に留意した管理	○				調理の基礎
5							
6		「日常食の調理と地域の食文化」 ・食材に適した加熱調理の仕方、基本的な日常食の調理 ・地域の食文化、地域の食材を用いた和食の調理	○				生活を豊かにするため布を用いた製作
7	調理実習	・食材に適した加熱調理の仕方、基本的な日常食の調理 ・地域の食文化、地域の食材を用いた和食の調理					
8							
9	(浴衣の着付け教室)	・魚・肉・野菜の扱い方と調理方法を知る ・和服の文化を知る。和服を着る体験をする。	○				
10							
11							
12	食生活の課題と実践	食生活の中の課題を見つけ解決方法を考える		○	○		
1	消費生活・環境		○				物や金銭の使い方と買い物
2		「金銭の管理と購入」 ・購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理	○	○			
3		・売買契約の仕組み、消費者被害、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理 ・情報を活用した物資・サービスの購入の工夫 「消費者の権利と責任」 ・消費者の基本的な権利と責任、消費生活が環境や社会に及ぼす影響 ・自立した消費者として消費行動の工夫	○	○	○		環境に配慮した生活
		*状況により 調理は3年時の家族と家庭生活と入れ変えて履修する予定					調理の基礎

家庭での学習方法・学習のアドバイス

・日頃から家庭の仕事を積極的に手伝う。 ・授業で学んだことを家族と話し、自分の家庭にあった方法で実践する。
--

令和7年度第3学年家庭分野年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点1	知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともにそれらに係わる技能を身に付けている。ワークシート、考査、作品
観点2	思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し考えたことを表現などして課題を解決する力を身につけている。ワークシート、考査
観点3	主体的に学習に取り組む姿勢	家族の一員として生活をよりよくしようと課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し、実践しようとしている。作品、ワークシート、考査

週0.5時間

(授業者; 小野田 祥子)

学習時期		指導計画		評価の観点			評価時期	小学校の学習との関連
期	月	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③		
1		ガイダンス 家族と家庭生活	「自分の成長と家族・家庭生活」 ・自分の成長と家庭生活との関わり ・家族・家庭の基本的な機能 ・家族や地域の人々との協力・協働	○	○	○	6月	自分の成長と家庭・家庭生活
	6			○	○	○		
	7		「幼児の生活と家族」 ・幼児の発達と生活の特徴、家族の役割 ・幼児の遊びの意義、幼児との関わり方 ・幼児との関わり方の工夫	○		○	7月	家庭生活と仕事 家族や地域の人々との関わり
	8			○		○		
2	9		「家族・家庭や地域都の関わり」 ・家族の協力と家族関係 ・家庭生活と地域の関わり、高齢者との関わり方	○	○	○	11月	
	10			○	○			
	11		「家族・家庭生活についての課題と実践」 生活に役立つ物の製作	○		○	12月	
	12			○	○			
3	1						2月	
	2							
	3		・家族関係をよりよくする方法及び地域の人々と協働する方法の工夫	○	○	○	3月	

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ・授業数が少ないので、1回の授業中の評価が高いことを意識し意識を高めて授業に参加する。
- ・課題やワークは内容がよりよくなるように工夫して製作する。
- ・学期の始めや終わりは気分が緩みがちになるので、特に気をつけて授業準備を心がける。
- ・評価だけにとらわれず、生活を豊かにするための学びを心掛ける。